

愛知県芸術劇場

カフェトーク

ゲスト × 観客で考える舞台の楽しみ方

2018-2019

場所: 喫茶アルス (愛知芸術文化センター地下2階 アートプラザ内)

時間: 19:30開始 / 21:00終了 [21:30閉店]

定員: 30名程度(予約優先。当日お席に余裕があれば入場可)

入場無料・ワンドリンクオーダー制(350円~)



やまだ しんべい
山田 晋平
舞台映像デザイナー



『**‘見えてくる’ 映像**』

2018年12月19日(水)

何かに投影されたり、モニターに映さなければ見えない“映像”を見ることは、同時にスクリーンやモニターという物質を見ることでもある。映像が見えてくるためのモノや空間との関係によって、意味性が大きく変化する事に注目し、主に舞台芸術の分野で活動を展開。チェルフィッチュ作品への参加や、プロジェクトンマッピングの作品を紹介しながら、舞台映像の可能性について話します。

かねうじ てっぺい
金氏 徹平
美術家



『**ロマンティック・バリケード**』

2019年1月23日(水)

彫刻の文脈やコラージュ的な手法、思考の展開としてアプローチする演劇やパフォーマンスアートについて、これまでの美術の領域での活動から、岡田利規、山田晋平、青柳いづみ、ARICA、島地保武などとのコラボレーション、2017年に発表した自身の舞台作品「tower(THEATER)」などについて話します。

たね つよし
田根 剛
建築家



『**建築と舞台芸術**』

2019年2月21日(木)

「エストニア国立博物館」や新国立競技場案「古墳スタジアム」などの建築プロジェクトで知られている建築家・田根剛ですが、初めて舞台美術を手掛けたのは2004年に金森穂率いる Noism旗上げ公演「SHIKAKU」。小澤征爾のサイトウ・キネン・フェスティバル松本など数多くの舞台装置を手掛ける田根が建築と舞台芸術の魅力とその関わりについて話します。

コーヒーなど飲み物を片手に舞台芸術のトップランナーたちのトークを聞いて

パフォーマンスをもっと身近に感じてもらう「カフェトーク」。

今回は、パフォーマー “ではない方々” が、

それぞれの立場から舞台芸術のおもしろさ、魅力を語ります。

愛知県芸術劇場 カフェトーク

2018-
2019

やまだ しんべい
山田 晋平
舞台映像デザイナー



『‘見えてくる’映像』

2018年12月19日(水)

1979年生まれ。舞台映像デザイナー。これまでに参加した主な舞台作品は、チェルフィッチュ、維新派、白井剛など、演劇やコンテンポラリーダンスを中心に、オペラ、コンサートなど、国内外での公演多数。近年では、美術家・金氏徹平とのコラボレーションによるプロジェクションマッピング作品「holes and buildings」、演劇作家・岡田利規による「映像演劇」シリーズの映像担当、ツアー・パフォーマンス「Kawalala-rhapsody」(城崎国際アートセンター)の監修を行うなど、舞台芸術と現代美術を横断しながら、映像芸術の新たな可能性を探る活動を展開する。愛知県芸術劇場では第17回AAF戯曲賞受賞記念公演『シティIII』映像担当。

一番印象に残っている舞台 ウースターグループ『タウンホール事件』

『ロマンティック・バリケード』

2019年1月23日(水)

かねうじ てっぺい
金氏 徹平
美術家

1978年生まれ。日常の事物を収集し、コラージュの手法を用いて作品を制作。一貫して物質とイメージの関係を顕在化する造形システムの考案を探索。個展「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、16年)、など国内外での展覧会のほか、「わかったさんのクッキー」(15-16年、KAAT他)での舞台美術、「tower(THEATER)」(17年、ロームシアター他)で自身のドローイング作品の舞台化に取り組む。

一番印象に残っている舞台 自身が手掛けた『tower(THEATER)』(17年)



©川島小鳥

たね つよし
田根 剛
建築家



『建築と舞台芸術』

2019年2月21日(木)

1979年東京生まれ。Atelier Tsuyoshi Tane Architectsを設立、フランス・パリを拠点に活動。主な作品に『エストニア国立博物館』(16年)、『古墳スタジアム』(12年)、『A House for Oiso』(15年)、『Todoroki House in Valley』(18年)、『LIGHT is TIME』(14年)など。フランス文化庁新進建築家賞、フランス国外建築賞グランプリ、ミース・ファン・デル・ローエ欧州賞2017ノミネート、第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞など多数受賞。愛知県芸術劇場では『ラ・バヤデール—幻の国』(16年)空間を担当。

一番印象に残っている舞台 William Forsythe『Decreation』(03年)

©Yoshiaki Tsutsui

申込方法 予約優先 E-Mail ws27@aaf.or.jp または Fax 052-971-5541 へ。

件名:「カフェトーク〇月〇日申込」

①お名前 ②ご連絡先(電話番号等)③ゲストへの質問(あれば)を記載のうえ、お申込みください。

*お預かりした個人情報は、愛知県芸術劇場[(公財)愛知県文化振興事業団]にて厳重に管理し、本事業を運営するために使用し、それ以外に使用しません。

主催・お問合せ: 愛知県芸術劇場 Tel: 052-971-5609 (10:00~18:00) <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

協力: 株式会社奥村(喫茶アルス)



文化庁

喫茶アルス

愛知芸術文化センター地下2階 アートプラザ内
営業時間: 平日 10:00~19:00 (L.O.18:30)
土日祝休 10:00~18:00 (L.O.17:30)
休み: 毎週月曜日(祝休日の場合はその翌日)

おすすめメニュー
ホットケーキ 480円(単品)
その他各種ケーキあり。
ドリンクとのセットメニューは100円引き

